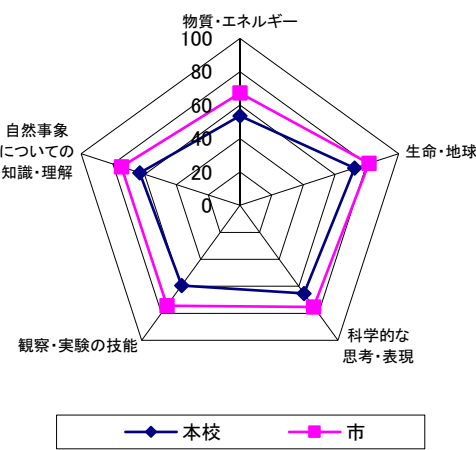


宇都宮市立富屋小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	53.6	67.3	64.4
	生命・地球	72.3	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	65.3	75.3	72.6
	観察・実験の技能	59.4	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	63.1	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	領域の平均正答率は市の平均を下回った。 ○「ふりこのきまりから、メトロノームのテンポを速くする方法を推察すること」について、市の平均をやや上回った。 ●「ふりこのきまり」、「物のとけ方」、「水溶液」の問題について、市の平均を大きく下回り、正答率も低い問題が多く見られた。	・時間の経過とともに、学習内容を忘れてしまっている様子が見受けられたので、6年間の総まとめとして、各学年で学習した内容を再度復習させ、科学的な思考・表現と自然事象についての知識・理解に関する内容を重点的に指導して定着を図る。
生命・地球	領域の平均正答率は市の平均を下回った。 ○「葉にでんぷんがあるか調べること」や「ウサギと人の消化管を比較し、胃の部位を推測できる」について、市の平均とほぼ同じだった。 ●「母親と胎児をつなぐ管をへそのおとよぶこと」や「肝臓のはたらき」、「地球上から酸素がなくなる理由」や「月の周期がおよそ1か月であること」については、市の平均を大きく下回った。	・時間の経過とともに、学習内容を忘れてしまっている様子が見受けられたので、6年間の総まとめとして、各学年で学習した内容を再度復習させ、知識・理解に関する内容とともに考察する活動を取り入れ、定着を図りたい。